

ごとう通信

第 195 号

平成 29 年 3 月 1 日

そんなに寒くなかった二月と感じているのは僕だけでしょうか。やはり雪が積もる日がないとちよつと安心です。最近は寒風の日も多いですが、生暖かい空気も感じたりして春が来はじめていることを感じます。

さて、先月の東京マラソン、夫婦で走ってきました。まあ、完走というかなんというか。今回はコースが変更されて初めての大会。とにかくフルマラソンのコースで応援が途切れる場所は一つもありません。いったい何人の方が沿道に駆け付けたのでしょうか。ランナーにとっては本当にありがたいことです。

この東京マラソン、僕が走るの

4 回目でしたが、コース以外にも大きく変わったところがありました。それはセキュリティのチェック。少し前から荷物の検査や金属探知機など空港のよ

うなチェックはあったのですが、今回は代走ができないように、本人確認後、腕にリングがはめられ、それが

ないとコースに入場できないようになっていました。また、コース上にランニングポリス(警察)



も走っていたりかなり厳戒態勢。日本人にとっては

「やりすぎ?」と思ってしまうようなことも、世界的な情勢を考えるといたしかたないのかもしれない。確かにあれだけの人数がいる中で爆破騒ぎなんてあったら...あと3年で

オリンピック。昭和39年のものは別物のようですね。

脅しの医療

先日、ある方のところへ訪問診療に行きました。病気があって口から食べることにリスクがある方で、病院では「口から食べてもいいけど、口から食べるとこんなに危険がいっぱい」といった説明があったようです。そう聞くとご本人もご家族も怖くて口から食べることにためらいを感じていたそうです。

もし、別のお医者さんが、「確かにリスクはあるけど、これだけ良くなくてらんだから大丈夫。何かあったらすぐに診てあげるから心配しないで」と言ったらどうでしょう。ご本人、